

こんにちは  
日本共産党

市会議員

# 西野さち子です



くらしの目線で市政を変える

「戦争法案今すぐ廃案!!」  
「アベ政治を許さない!!」

## 憲法守れの声 もっと大きく!!



60人にせまるパレード参加者でアピール。沿道からの飛び入り、クラクションを鳴らしての声援など、注目度は抜群でした。



8月9日、桃山、醍醐地域の皆さんは「暴走する安倍政権に黙ってられない!戦争はアカン!」の声をひろげよう」と地下鉄醍醐駅から石田駅までパレードを行い、西野さち子市議も参加しました。

午後4時とはいっても、照り付ける太陽はかなりの暑さです。それ以上に戦争を許さない熱い思いの皆さんが、「安倍政治を許さない」「戦争法案は憲法違反」などのプラカードを持って、集まりました。

いま、全国で若者から高齢者、学者や宗教者、若いパパやママたち、高校生など、あらゆる世代の皆さんが声をあげ、行動を起こしています。

### 市政報告 震災から20年 神戸で生活保護を考える

西野さち子市議は、8月21・22日に神戸市で開かれた「第7回生活保護問題議員研修会」に参加しました。

初日の「住宅政策の再構築に向けて」の講演では、政府の方針に対する課題と京都市政での課題が見えてきました。住宅政策に関して「国の政策は、家を買う中間所得層への支援が中心で、低所得層への対策がない。特に単身者への対策が薄い。非正規雇用で低所得の若者を増やしてきたが、親や家族と一緒に住むことでしのいできた。持ち家中心で、公的賃貸住宅、公的家賃補助が未整備になっている」と指摘され、納得です。また、特別報告では、実際に20代で薬物による入退院を繰り返した経験者からの報告は胸を打ちました。NPO法人木津川ダルクを立ち上げ、薬物をやめたいと自分とたたかっている薬物依存者の手助けを始めておられる加藤武士さんの報告は感動しました。

2日目は分科会と全体報告です。西野市議は「生活困窮者自立支援制度の現状・問題・活用方法」の分科会に参加し「住宅扶助の切り下げ問題についても今回は勉強できました。これを京都市政に生かしていきます。」と話しました。

国民の大多数は今国会での戦争法案の強行に反対をしています。追い詰められた安倍政権は「8月下旬から9月上旬に強行採決」をたくらんでいます。強行採決は絶対許さないの世論をもっともっと広げましょう!!

### 醍醐陀羅谷の産廃処分場予定地を視察

東部山間埋立地（音羽の杜）の峠を越えた大津市側に醍醐陀羅谷一の切、二の切、三ノ切があります。伏見区の山間にある、のどかなところですが、この自然豊かな谷あいに産業廃棄物の埋め立て処分場を造る計画です。「虫の住む河川の汚染は?大雨で崩落の危険は?産廃を運ぶトラックの被害は?」大津市の住民だけでなく大津市長からも心配の声が京都市に届けられるの声を京都市にとどけていきます。

伏見区醍醐とは言っても迷惑がかかるのは大津市側です。地域のみなさんの声を京都市にとどけていきます。

